

～島津 EPMA1610 を用いた生体試料分析～

- 【日 時】 : 令和3年2月16日(火) 13:30 ~ 14:30
- 【場 所】 : WEB ミーティング(ZOOM) *ID,PW は別途ご連絡いたします。
- 【参加対象者】 : 大学の EPMA 担当者、技術職員、技術支援員、技術補佐員等
- 【参加条件】 : EPMA 分析の経験があり、機器の原理を理解している方。
- 【講 師】 : 新潟大学 研究推進機構 共用設備基盤センター 機器分析部門
技術職員 五十嵐 文子
- 【定 員】 : 20 名
- 【締 切】 : 令和3年2月05日(金)
- 【申し込み】 :

https://docs.google.com/forms/d/15jgqfblNaZSWiknmrEXYEih_nQhFjLYUBb3c-ePMDi0/edit

*定員になり次第募集を締め切ります。

- 【主 催】 : 新潟大学 研究推進機構 共用設備基盤センター 機器分析部門
- 【協 賛】 : 自然科学研究機構 分子科学研究所 (大学連携研究設備ネットワーク)
- 【講習機器】 : 島津 EPMA-1610
- 【目的】

EPMA と SEM-EDX では元素マッピングができるという点では同等の測定手法であるが、EPMA は微量分析が得意であり、SEM-EDX は汎用性が高く、両者それぞれの利点がある。

EPMA は熱に弱い生体試料の分析には一般的には不向きであるが、生体試料中の微量元素が研究進展の鍵となるケースがある。新潟大学では、生体試料における EPMA 元素マッピングを、特殊カーボンを使用することにより分析を可能にした。

本実習会では、Shimadzu EPMA1610 を使用して生体試料への EPMA 応用の習得が目的である。

【プログラム】

- 13:30 ~ 14:15 生体試料作製についての注意点
分析方法 ~肺組織・硬組織~
- 14:15 ~ 14:30 質疑応答

【問い合わせ先】

新潟大学 研究推進機構 共用設備基盤センター 機器分析部門
五十嵐 文子

avikaras@cc.niigata-u.ac.jp ; 025-227-0768